

講義名	対)公務員特別演習			
担当教員	岸野 啓一			
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要
<p>【目的】 公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする、1年後期(演習)から4年前期(演習)まで一貫したプログラムである。「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支えるやりがいのある大きな職業である。しかしながら、公務員試験は競争が厳しく、この演習を受講したからといって容易に合格できるものではない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいない。すなわち公務員になるには、自ら考え、仲間とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められている(まさに本学が掲げる「ネア力のひへこたれず」の精神をもった人材)。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていくものである。</p> <p>【内容】 2年生前期の公務員特別演習では、次の目的意識のもとで授業を行う。 (1)自治体の組織や公務員の職務に関する基礎的、具体的な知識の修得 (2)目指す進路(希望職種)を定めるための情報や知識の修得、理解の深化 (3)公務員試験に対応できる知識やスキルの上</p>

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 1.自治体(特に市町村)の組織や公務員の身分、職責、職務の内容について、具体的に理解できるようになる。 2.自分自身が目指す職種を具体的にイメージし、それを達成するための課題を明確に意識できるようになる。 3.公務員試験に接み、疑問を乗り越えていくためのモチベーションを高めることができるようになる。 4.とりわけ難しいといわれる試験科目について、自身の対応能力を向上させることができるようになる。 <p>本演習は、公務員試験対策の演習や希望職種に関するプレゼンテーションを実施するため、対面形式のみでの開講とする。</p>

提出課題
<p>演習で学んだことを復習し、理解を深めることを目的としたレポート課題を課す。 また、希望職種に関するプレゼンテーション(授業時間内での発表)を求める。</p>

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック
<p>レポート課題については、次の演習の際に講評する。 プレゼンテーションについては、授業時間内に講評やアドバイスを行う。</p>

評価の基準
<p>レポート課題:40点、希望職種に関するプレゼンテーション:40点、平常点(出席点、授業態度):20点、合計100点満点で評価する。</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>・この演習は、真剣に公務員を目指す学生を対象とするものであり、理由なく遅刻・欠席しないこと。 ・公務員試験は競争が厳しく、本演習の学習のみで合格できるほど甘くない。本演習はあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることは言うまでもない。 ・学内の公務員試験対策講座(3年生から始まる有料講座)等の受講、もしくは外部専門学校(ダブルスクール)を強く推奨する。 ・「基礎技師」以外の開講する正課授業も、順次、履修することが望ましい。 (共通)法学入門、経済学入門、政治学、財政学、地域まちづくり概論、業務研究(官公庁) (行政職)民法A・B、憲法、行政学、地方行政論、地方財政論、経済数学、ミクロ経済、マクロ経済 公務員特別演習(～)に途中から参加するには、「公務員特別演習」(本演習・2年前期開講)からのみ編入可能である。 編入希望者は、1年後期(10-11月)に実施するガイダンスに必ず参加すること。</p>

教科書
<p>.公務員試験 現職人事が書いた「公務員になりたい人へ」の本 2022年度、大賀 英徳 実務教育出版 1,210円 978-4788976870</p>

プリント資料及び参考文献
<p>教科書に加え、適宜、プリントを配付する。 外部講師による授業の際にも、別途教材やプリントが配付されることがある。</p>

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1.ガイダンス(授業の概要説明) 2.公務員試験の動向(外部講師) 3.市町村の組織・公務員の費用・身分・職責 4.公務員の職務内容、仕事の進め方(一般論) 5.公務員の待遇・人事異動・昇進(一般論) 6.公務員の仕事の実際(1)(自治体職員A) 7.公務員の仕事の実際(2)(自治体職員A) 8.公務員の仕事の実際(3)(自治体職員B) 9.公務員の仕事の実際(4)(自治体職員B) 10.政治的処置の基礎(1)(外部講師) 11.政治的処置の基礎(2)(外部講師) 12.政治的処置の基礎(3)(外部講師) 13.希望職種に関するプレゼンテーション(1) 14.希望職種に関するプレゼンテーション(2) 15.希望職種に関するプレゼンテーション(3) <p>第6回-第14回は、授業の順序が変更になることがある。 自治体職員の方による授業について (1)講師は、吉野町(奈良県)、川上村(奈良県)の現役公務員(またはOB)の方に2回ずつ講義していただく予定である。 (2)成功事例/失敗事例、地域住民との関わりなど、実例や具体的な経験を含めて講義いただく予定である。</p>

授業形態(アクティブ・ラーニング)
<p>ア:PBL(課題解決型学習) イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)</p> <p>ウ:ディスカッション、ディベート エ:グループワーク</p> <p>オ:プレゼンテーション カ:実習、フィールドワーク</p> <p>キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)</p>

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>知識の修得など授業内容の理解のためには、教科書に基づく予習や授業内容の復習、レポート作成が必須である。 公務員試験への対応能力の向上については、時間割に準わりなく、日常的なトレーニングの積み重ねが重要である。 これらを合わせ、少なくとも週2時間以上の準備や学修、取り組みが必要と考えられる。</p>

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
<p>本演習は以下のディプロマ・ポリシーと関連する。 【流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】 (1)「ネア力のひへこたれず」の精神をもった人材 (2)知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材 (3)創造力、新しい視点と豊かな発想を持った人材 (4)自主・自立の精神を持った人材 (5)仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材 (6)「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>演習形式の授業であり、学生はレポートを提出し、教員がそれについてコメントする。</p>

実務経験の有無及び活用

備考